

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月18日に全国の小学6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の調査結果をお知らせします。

〈各教科の比較〉正答率(%)

	国語	算数
日野南小	71	64
神奈川県(公立)	66	63
全国(公立)	67.2	62.5

〈国語 内容別の結果〉正答率(%)

	知識・技能	思考・判断・表現
日野南小	71.9	69.2
神奈川県(公立)	68.5	64.0
全国(公立)	68.9	65.5

〈算数 内容別の結果〉正答率(%)

	知識・技能	思考・判断・表現
日野南小	69.6	56.0
神奈川県(公立)	67.8	57.2
全国(公立)	67.2	56.5

【生活習慣・学習習慣】の結果

質問項目69問中 抜粋	日野南小 「当てはまる」を選んだ人の割合	全国 「当てはまる」を選んだ人の割合
学校に行くのは楽しいと思いますか。	58.6	49.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	87.9	82.6
自分には、よいところがあると思いますか。	39.7	42.6
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	24.1	32.0
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	46.6	33.2

※なお、いじめの質問については、「当てはまる」を合わせると、100%となります。

【結果を受けての今後の方針】

●学習状況の結果を受けて

全国の正答率と比べたとき、国語、算数ともに、知識・技能を問われる問題で正答率が高かった。生活意識調査の回答状況をみたととき、国語や算数の学習を大切だと思っている児童が95%以上だった。また、授業の内容が分かると答えた児童は、国語で84%、算数では79%だった。児童の意識として、普段から国語や算数の学習が将来の自分に役立つと考え、真摯に学習に取り組んでいるからこそ、学習の基本的な知識や技能をしっかりと身に付けることができているのだと考えられる。

一方、「自分の考えを発表する機会で、自分の考えが伝わるように工夫して発表していたか」という問いに対しては、「はい」に近い回答をしていた児童は、62%にとどまっていた。自分が獲得した知識や技能を生かして、考えを構築し、工夫して相手に伝えたり説明したりすることについては、半数近くの児童が難しさを感じているように思われる。そのため、普段の授業で、学習したことから、「どのようなことがいえるのか」「どのようなことが大切なのか」など、自分の考えをもてるように問い、周りの人に伝える機会を設けながら学習活動に取り組んでいく。

●生活状況の結果を受けて

学校に行くのがとても楽しいと感じている児童が多く、「当てはまる」を合わせると、90%を超える数値を示しました。また、いじめについては、「当てはまる」を合わせると100%となり、全員が「いじめはいけないこと」と考えていることが分かります。一方で「自分によいところがあるか」や「自分と違う意見について考えるのが楽しいか」の回答からは、やや自信のなさを感じます。今後も、道徳や学級活動を通して、自分や相手を大切にすることを育てていくことに加え、一人ひとりが自信をもって自分のよさを発揮していけるような授業や雰囲気づくりに努めていきます。地域参画への意識は全国に比べて高く、大空タイムなどを通して、地域とかがかわる学習に重点的に取り組んできた本校の長所が表れていると言えます。今後も、大空の心をもち未来を自分でつくる日野南っ子を育てていきます。